

中東激動と日本の関わり

ーシリア難民と「イスラム国」の行方ー

日本に衝撃を与えた「イスラム国」による邦人殺害事件から近く1年を迎える。最悪のイスラム過激派組織に国際社会はどのように対応してきたのか。

一方で、悪化するシリア内戦によって、住む場所を追われた400万人を超える難民問題も危機的な情勢となっている。

表裏一体でもある難民問題と「イスラム国」は、

中東に石油の9割を依存する日本にとって、決して遠い世界の話ではない。

長年にわたり中東を取材し、今も取材を続けるジャーナリストが、

激動の中東の“いま”と、日本の関わり方について語る。

日時

2016. **1/9** 土 14:00~16:00

要申込 申込みの方法については下記をご参照ください

場所

701教室 《名古屋外国語大学7号館 地下1階 大講義室》

対象

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学の学生や教職員、一般市民 など

主催

名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター

聴講者数

250名(予定)

申込方法

Eメール、電話等で、以下の項目をお知らせください。本学学生についてはポータルシステム上から申し込みが可能です。受付完了しましたら、当方よりご連絡いたします。

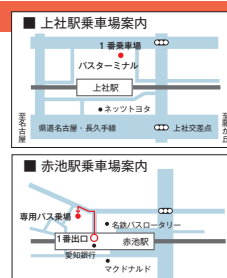
- ①お名前 (複数人で参加を希望される場合は代表者のお名前のみで可。希望者数を併記ください)
- ②ご連絡先 (メールアドレスまたは 電話番号等)

本学へのアクセスについて

当日、本学駐車場はご利用できませんので、公共交通機関または上社駅・赤池駅から専用バスをご利用ください。

■専用バス乗場

専用バスは、名古屋市営地下鉄東山線 上社駅、名古屋市営地下鉄鶴舞線 赤池駅の2駅から運行しています。
本学までの所要時間はいずれも約15分です。



講師

川上 泰徳

KAWAKAMI, Yasunori

中東
ジャーナリスト



Profile

1956年、長崎県生まれ。大阪外国語大学アラビア語科卒、学生時代にカイロ大学へ留学。朝日新聞記者としてカイロ、エルサレム、バグダッドなどに駐在し、中東アフリカ総局長、編集委員、論説委員を歴任。2002年度、パレスチナ報道でボーン・上田記念国際記者賞受賞。2015年に新聞社を退社し、中東を拠点にフリーランスとして活動。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー。

著書には、「イラク零年」(朝日新聞)、「現地発エジプト革命」(岩波ブックレット)、「イスラムを生きる人びと」(岩波書店)など

お問い合わせ

名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター

〒4700197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57 Tel.0561(75)2503 Email. wlab_gg@nufs.ac.jp